

1. 経 済 動 向

記事提供：一般財団法人 建設物価調査会 北陸支部

新潟県内の景況について

新潟県鉱工業指数をみると、令和5年9月の生産指数は88.9で前月比0.2%減と、3ヵ月連続の低下となった。業種別にみると、食料品工業、電子部品・デバイス工業、プラスチック製品工業等8業種が低下し、電気・情報通信機械工業、化学工業、鉄鋼業等6業種が上昇した。出荷指数は90.6で、こちらも前月比0.7%の低下となった。これは、食料品工業、輸送機械工業、プラスチック製品工業等10業種が低下し、電気・情報通信機械工業、金属製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業等4業種が上昇した。また在庫指数は、94.1で前月比0.5%の低下となった。

令和5年9月の有効求人倍率は1.55倍（全国平均1.29倍）で前月比0.02ポイントの低下となった。新規求人倍率は2.47倍で、こちらは0.16ポイントの上昇となった。主要産業別にみると、運輸業・郵便業、卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業等で上昇し、建設業、製造業等で低下した。雇用情勢は改善の動きが見られるものの、一部求人の動きにやや足踏み感がある。引き続き、求人・求職の動きに留意しつつ、物価の高騰等が雇用に与える影響にも十分注意する必要がある。

令和5年9月の新潟市消費者物価指数は、総合で105.6となり前月に比べ0.3%上昇、前年同月比では2.8%の上昇となっている。前月からの動きをみると「光熱・水道」が2.4%下落したものの、「食料」が1.0%上昇した結果、総合で0.3%の上昇となった。

富山県内の景況について

富山県鉱工業指数をみると、令和5年9月の生産指数は95.3で前月比7.1%の上昇となり、3ヵ月ぶりに上昇した。これは13業種中、化学工業、汎用・生産用・業務用機械工業、電気機械工業等7業種が上昇したことによる。なお、低下した業種は金属製品工業、繊維工業、プラスチック製品工業等の6業種である。在庫指数は115.9と前月比1.8%の上昇となり、2ヵ月ぶりに上昇した。これは13業種中、化学工業、電気機械工業、輸送機械工業等10業種で上昇したことによる。なお、低下した業種は、汎用・生産用・業務用機械工業、鉄鋼業、非鉄金属工業の3業種である。

令和5年9月の有効求人倍率は1.43倍となり、前月比0.03ポイントの上昇となった。新規求人数は8,492人と前年同月比1.0ポイント低下し、6ヵ月連続の低下となった。主要産業別にみると、製造業、情報通信業、運輸業・郵便業、卸売業・小売業、学術研究・専門技術サービス業等で上昇し、建設業、金融業・保険業、宿泊業・飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業等が低下した。雇用情勢は求人が求職を上回って推移しているものの、求人の動きに足踏み感があり、改善の動きにやや弱さがみられ、物価上昇が雇用に与える影響に引き続き注意する必要がある。

令和5年9月の富山市消費者物価指数は、総合で107.2となり前月比0.3%の上昇となった。これは、「光熱・水道」等は低下したものの、「食料」等が上昇したことによる。また前年同月比でも、「食料」等が上昇したことにより4.0%の上昇となった。

石川県内の景況について

石川県鉱工業指数をみると、令和5年9月の生産指数は89.1と前月比3.4%低下と、3ヵ月連続の低下となった。これは汎用・生産用・業務用機械工業、化学工業等が低下したことによる。出荷指数は83.3と前月比4.0%の低下で、こちらも2ヵ月連続の低下となった。また在庫指数は62.7で前月比2.3%低下し、3ヵ月ぶりの低下となった。

令和5年9月の有効求人倍率は1.56倍で前月比0.01ポイントの低下となった。新規求人倍率は2.66倍で、こちらは前月比0.29ポイント上昇した。主要産業別にみると、卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業、教育・学習支援業、医療・福祉が上昇。一方、建設業、製造業、情報通信業、運輸業・郵便業、複合サービス事業、サービス業は低下した。雇用情勢は注意を要する状態にあるものの、持ち直している。

令和5年9月の金沢市消費者物価指数は、総合で106.4となり前月比0.2%上昇した。これは、「食料」、「被服及び履物」等が上昇したことによる。また前年同月比では、「食料」、「交通・通信」、「教養娯楽」等が上昇し、3.4%の上昇となった。

※ 上記は、令和5年9月時点での経済活動である。

主要経済動向指標（北陸地方3県の比較）

項目・ 県別			鉱工業生産動向指数(季節調整済) [平成27年=100] ※富山は31年4月、石川は31年1月より平成27年基準								
			生 産			出 荷			在 庫		
			新 潟	富 山	石 川	新 潟	富 山	石 川	新 潟	富 山	石 川
令和 四年度	Ⅲ	10月	96.0	94.9	95.6	95.9	-	92.8	92.0	111.7	56.5
		11月	96.2	94.9	95.2	94.8	-	91.9	r 93.5	112.0	57.5
		12月	93.3	93.0	94.1	93.2	-	89.9	r 94.0	113.6	53.5
	Ⅳ	1月	89.4	90.4	92.8	92.3	-	88.9	r 92.1	113.4	55.6
		2月	91.5	92.4	95.2	90.5	-	93.5	r 93.4	114.6	52.5
		3月	91.2	94.5	91.3	92.5	-	84.7	r 91.2	115.4	57.0
令和 五年度	Ⅰ	4月	93.2	90.9	97.3	90.8	-	94.0	r 92.3	114.0	55.7
		5月	91.7	88.3	99.2	92.2	-	92.8	r 91.7	114.3	52.9
		6月	93.4	95.2	101.7	92.7	-	94.4	r 92.9	114.9	51.3
	Ⅱ	7月	89.7	91.5	98.7	91.1	-	94.8	r 93.8	115.5	57.9
		8月	r 89.1	89.0	92.2	r 91.2	-	86.8	r 94.6	113.8	64.2
		9月	P 88.9	P 95.3	P 89.1	P 90.6	-	P 83.3	P 94.1	P 115.9	P 62.7
資料出所			県統計課								

項目・ 県別			有効求人倍率			消費者物価指数		
			(季節調整済)			※[2020年=100]		
			新 潟	富 山	石 川	新潟(市)	富山(市)	金沢(市)
令和 四年度	Ⅲ	10月	1.60	1.61	1.65	103.4	103.6	103.2
		11月	1.60	1.61	1.65	103.4	104.0	103.4
		12月	1.63	1.62	1.66	103.6	104.2	103.6
	Ⅳ	1月	1.61	1.59	1.69	104.3	104.7	104.2
		2月	1.57	1.55	1.63	103.3	103.8	103.4
		3月	1.56	1.50	1.62	103.7	104.5	103.8
令和 五年度	Ⅰ	4月	1.58	1.49	1.65	103.9	105.4	104.7
		5月	1.55	1.50	1.62	104.1	105.4	104.7
		6月	1.56	1.45	1.66	104.6	106.0	105.1
	Ⅱ	7月	1.55	1.43	1.60	104.8	106.8	105.7
		8月	1.57	1.40	1.57	105.3	106.9	106.2
		9月	1.55	1.43	1.56	105.6	107.2	106.4
資料出所			労働局職業安定課			県統計課		

(注) ・ Pは速報値を示し、rは修正値を示す。
 ・ 各指標は速報値を含み年度修正が行われるため、先の公表分と異なる場合がある。